

# 令和4年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見てきた成果・課題と今後の取組について－

区 名	都島区
学 校 名	大阪市立中野小学校
学校長名	牧野美奈子

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和4年4月19日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育局では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育局の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

## 1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 2 調査内容

### (1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

### (2) 質問紙調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

## 3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・学校では、第6学年 74 名

## 令和4年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語科においては、平均正答率が大阪市平均より4ポイント、全国平均より約3ポイント上回る結果になった。話すこと・聞くことは、全国平均を0.6ポイント下回ったが、他の領域は、すべて大阪市・全国平均を上回り、昨年度まで下回っていた書くことは、全国平均より1.5ポイント上回った。

算数科においては、平均正答率が、大阪市平均より8ポイント、全国平均より約7ポイント上回る結果になった。どの領域も、大阪市・全国平均を上回り、図形領域・変化と関係・データの活用は、全国平均を約9ポイント上回ったが

理科においては、平均正答率が、大阪市平均より5ポイント、全国平均より約2ポイント上回る結果になった。地球を柱とする領域は、大阪市平均を約2ポイント上回ったが、全国平均を約2ポイント下回った。その他の領域は、大阪市・全国平均を上回った。特にエネルギーを柱とする領域は、全国平均を約4ポイント上回った。

## 分析から見えてきた成果・課題

### 教科に関する調査より

〔国語〕我が国の言語に文化に関する事項や言葉の特徴や使い方に関する事項の領域は、全般によくできていた。また、本校の課題であった書くことの領域は、いろいろな学習活動において振り返りを記述したり、自主学習を進めてきたりした結果の成果が出たのではないかと考える。話すこと・聞くことでは、必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分の聞きたいことの中心を捉えることができていなかったもので、話し合う場面でもこれからも必要なことが何か考えて話し合えるように指導を続けていく。

〔算数〕算数科では、各学年系統立てたノートの書き方と5段階の指導をどの学級も継続して行ってきたことや、習熟度別少人数の指導を積極的に取り入れ、放課後の補習をしてきたので、数と計算や変化と関係・データの活用ではその成果が見られる。図形領域でも、昨年度プログラミング学習を取り入れたり、小グループでの話し合いを授業の中で取り入れたので、成果が大きく表れた。

〔理科〕理科では、問題解決型学習を基本とし、課題に対して予想を立てたり、「なぜ？」という知りたい知的な好奇心を大事にした指導に努めている。地球を柱とした領域では、予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して問題を解決するまでの道筋を構想したり、観察で得た結果を結果からいえることの視点で分析して、解釈したりして自分の考えをもつことができていないことが分かった。

### 質問紙調査より

児童質問紙調査においては、「朝食を摂る」「寝る時間・起きる時間が決まっている」など基本的な生活習慣はほとんどの児童が身につけている。「自分にはよいところがあると思いますか」「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」という項目が全国平均を下回り、自分に自信がもてず満たされていない気持ちをもっていると考え。

また、「将来の夢や目標を持っている」「読書は好きですか」という項目は大阪市・全国平均を上回っているが、「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか」という項目の「あてはまる」と回答した児童は大阪市・全国平均を下回っている。

学習活動において、話し合いにより自分の考えを深めたり広げたりすることはほぼ8割に近づき、学級会の話し合いで学校生活をよりよくしようとする児童が8割を超えており、自分たちで解決していこうという自主的・主体的な態度が育ってきている。国語や算数・理科は、授業の内容はよくわかると答えている児童大阪市・全国平均を上回っているが多い。学校の授業時間以外に2時間以上勉強している児童が4割を超えていて家庭学習が身についてきている。

学校質問紙では、概ね落ち着いた環境で学習活動が行われており、児童の学習意欲もある。学習活動の中でICTを進んで活用し、特別活動を研究領域にしているので話し合いの中で合意形成や意思決定ができるような指導をよく行っている。

## 今後の取組(アクションプラン)

国語科の基礎・基本となる言語事項や読解力を高めるために今後も漢字学習の工夫や習熟度少人数学習をより効果的に取り入れて学習を進めていく。話し合う場面をどの単元でも取り入れ、友だちの意見をしっかり聞き、自分の考えを相手に伝えられる児童の育成に継続して努める。

算数科は、引き続き習熟度別少人数指導を継続して進め、放課後の個別学習などで、反復練習を行っていく。図形やデータの活用の領域においては、ふり返りプリントやデジタルドリル・東書のまとめのプリントなどを活用し、いろいろな問題に触れ、問題の解き方に慣れていく。

理科では、問題解決型学習を継続して行い、予想を立てて結果から考察して考えがまとめられるよう話し合いや記録する。より学習が深められるような授業を組み立てていく。地球を柱とする領域では、自分で調べて課題解決できるよう学び方を学ぶ学習を進めていく。

今年度研究教科を特別活動にし、話し合い活動が全教科領域で生かされるよう系統立てて取り組みを進め、学級から児童会へと自分たちで課題を見つけ、学校生活をよりよくするために合意形成したり、意思決定したりできるようにしたい。また、たてわり班活動でも積極的に行動できるようにし、低学年から憧れられる高学年児童を育て、これからも学校が楽しいという児童を増やしていく。

# 児童質問紙より

質問番号

質問事項

43

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか

46

あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか

51

国語の授業の内容はよく分かりますか

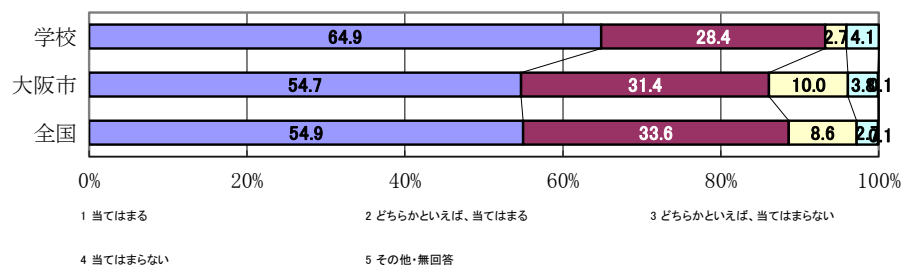
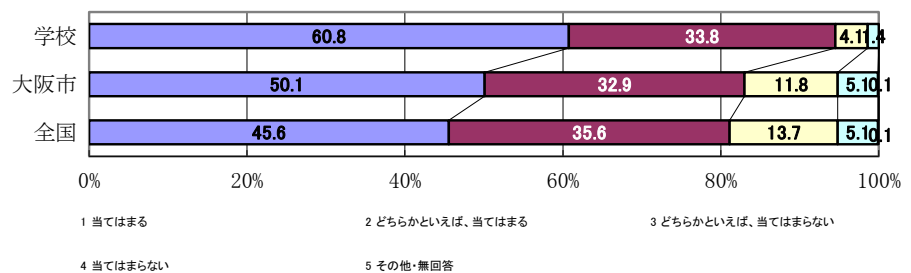
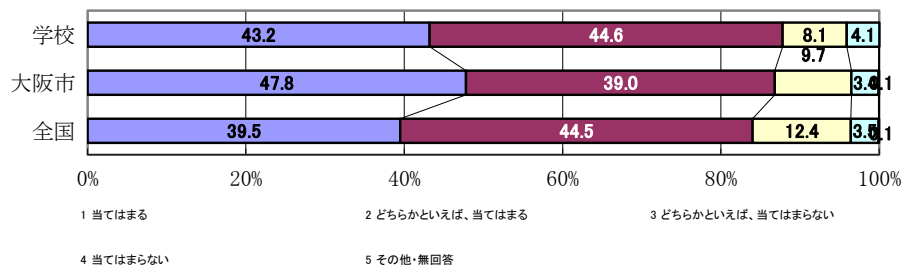
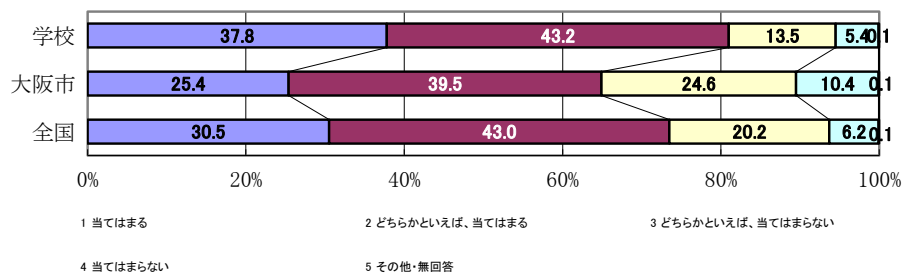
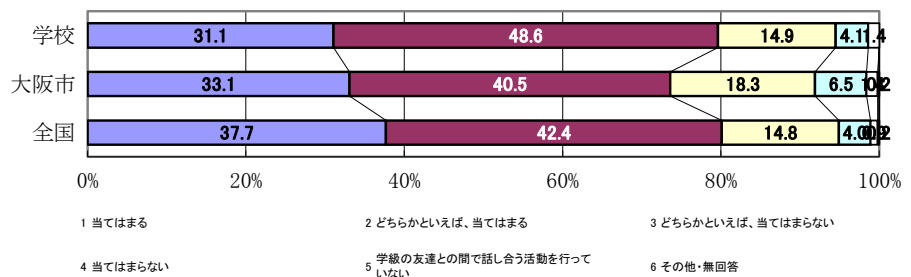
55

算数の授業の内容はよく分かりますか

63

理科の授業の内容はよく分かりますか

1 2 3 4 5 6 7 8



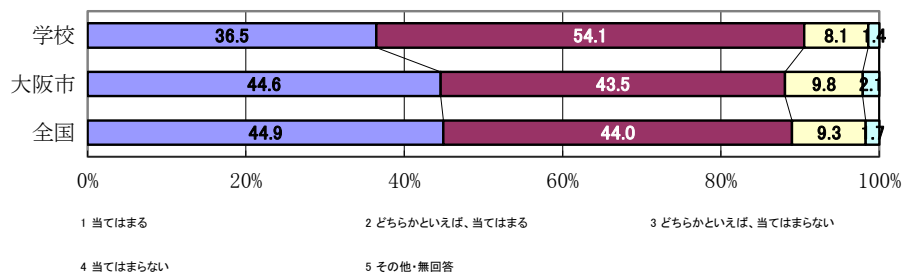
# 児童質問紙より

質問番号

質問事項

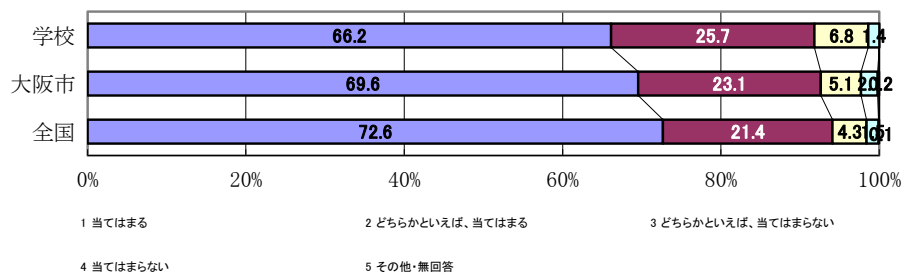
12

人が困っているときは、進んで  
助けていますか



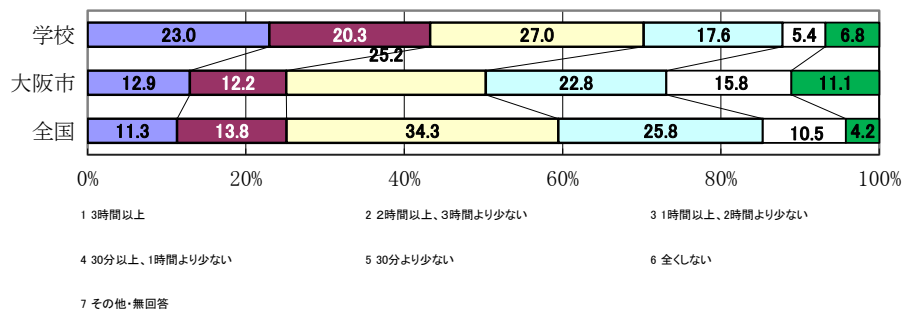
18

友達と協力するのは楽しいと  
思いますか



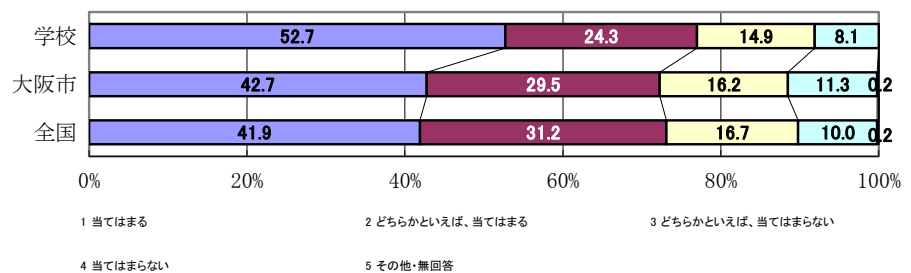
21

学校の授業時間以外に、普段  
(月曜日から金曜日)、1日当  
たりどれくらいの時間、勉強を  
しますか(学習塾で勉強してい  
る時間や家庭教師の先生に教  
わっている時間、インターネット  
を活用して学ぶ時間も含む)



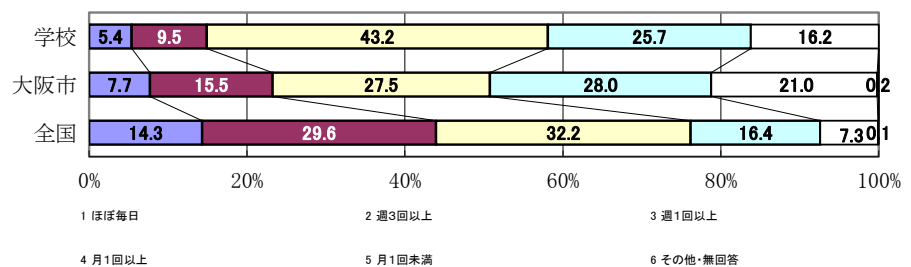
26

読書は好きですか



33

学校で、授業中に自分で調べ  
る場面で、PC・タブレットなど  
のICT機器を、どの程度使っ  
ていますか(インターネット検  
索など)



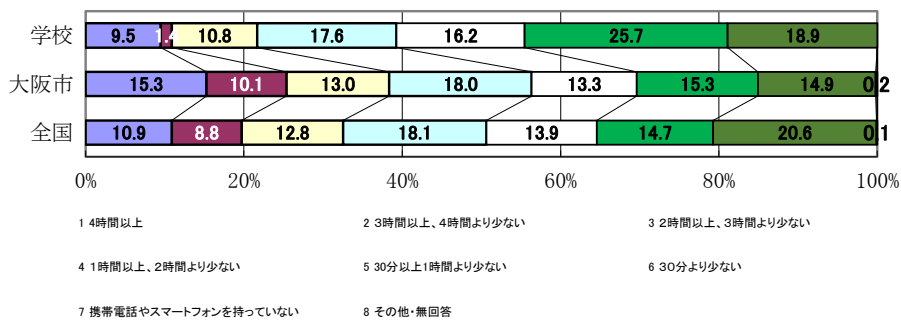
# 児童質問紙より

質問番号

質問事項

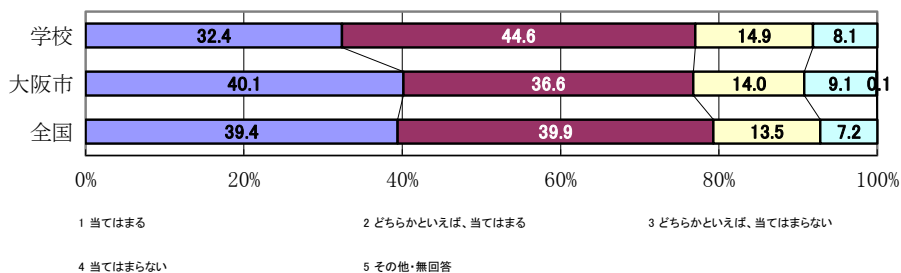
6

普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか(携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く)



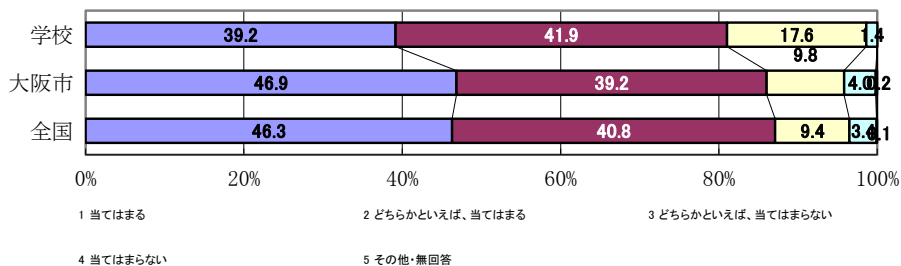
7

自分には、よいところがあると思いますか



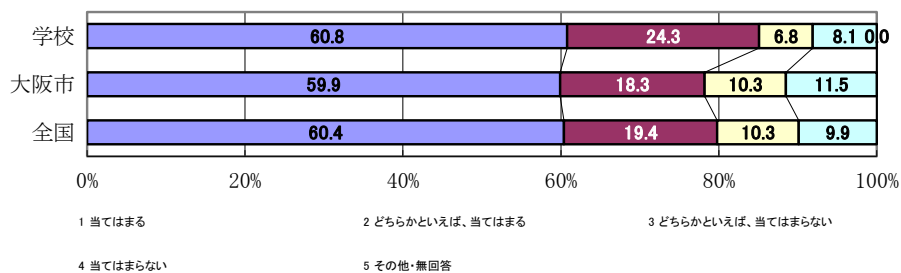
8

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



9

将来の夢や目標を持っていますか



10

自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか

